

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

時代の変化と要請を先取りし、健康で豊かな食生活創りを通じて消費者と社会に貢献

売上高
7,200億円営業利益
97億円経常利益
114億円親会社株主帰属当期純
83億円

② 中長期の経営戦略

1. 情報分野の強化

全国100チェーン以上のスーパーに1万台を超えるデジタルサイネージを展開し、消費者ニーズに合った情報提供と売場づくりを実施

3. 物流の効率化

トラック積載効率改善・ドライバー労働負荷軽減、デジタル技術活用による庫内作業のデータ化と分析でサプライチェーン効率化

2. 商品開発の加速

凍眠凍結酒・フルーツなど冷凍食品の採用拡大、有名ブランド・レストラン監修の冷凍ケーキで食生活の豊かさを提供

4. 人的資本経営

女性活躍推進、心身の健康維持、仕事と育児・介護両立支援により「えるばし3つ星」と「健康経営優良法人ホワイト500」を取得

③ 対処すべき課題

① 消費ニーズの二極化対応

- ・物価上昇による実質賃金低下で生活防衛志向が顕在化
- ・低価格・PB商品と付加価値商品の消費二極化に対応

② 業界全体の構造課題解決

- ・原材料費・人件費・物流費増による価格転嫁
- ・トラック積載効率改善とドライバー労働負荷軽減

③ サプライチェーン全体の価値創造

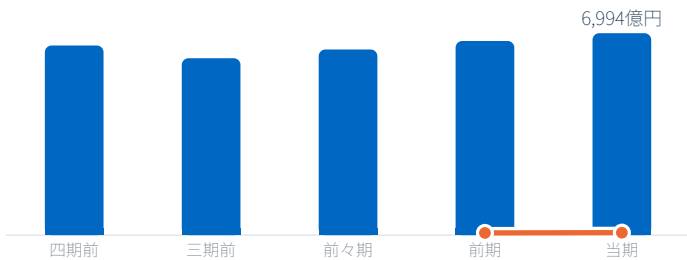
- ・製配販一体での魅力ある売場づくり
- ・消費者を含めた共有価値の創造と循環

面接で使えるポイント

- ・デジタルサイネージ1万台以上展開で消費者体験を変革する食品流通ビジネスに興味がある理由
- ・物価上昇で二極化する消費ニーズに対し、低価格商品と付加価値商品の両立を実現する提案力
- ・えるばし3つ星・健康経営優良法人ホワイト500取得実績から学ぶ、組織文化と事業成長の両立

証券コード 2692

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6,994億円営業利益率
1.2%財務健康度
27点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 55.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
688万円

卸売業内 133位/282社

平均年齢
40.6歳

卸売業内 200位/283社

平均勤続
16.0年

卸売業内 66位/282社

女性管理職
14.7%

卸売業内 42位/209社

男性育休
60.0%

卸売業内 123位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに
伊藤忠食品株式会社の事業概要

…

主力事業・セグメント

・卸売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・連結売上高6,994億円の事業規模

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

